



知っておこう! 子どもの事故

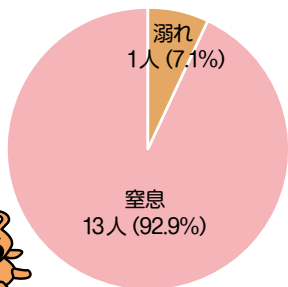


横浜市子どもの不慮の事故死 5年間の総数と割合

〔横浜市人口動態統計資料 平成27年～令和元年〕より

0歳 / 14人

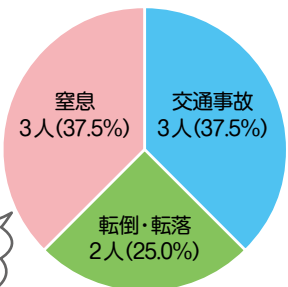
まだ自分で自由に
身動きが取れないため、
窒息による事故に
注意しましょう。



1～4歳 / 8人

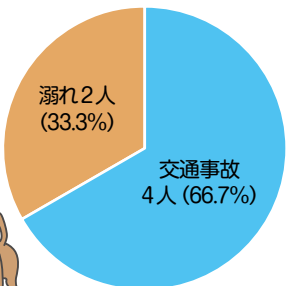
外に出る機会が増え、
交通事故の割合も
増えてきます。

窒息には引き続き
注意が必要です。



5～9歳 / 6人

外で活発に活動するよ
うになり、交通事故が
多くなります。



確認しよう! いざという時の連絡先

子どもが病気、事故の時に！医療電話相談

救急相談センター **#7119** (携帯電話、PHS、プッシュ回線)
(24時間・年中無休) **045-232-7119** (全ての電話でご利用できます)

音声案内に従って番号を押すと、次のサービスにつながります。

1番を選択

その時受診可能な、医療機関案内を行います。
聴覚障害者専用ファックス 045-212-3808
FAX受付後に医療機関と調整の上、
折り返しいたします。

2番を選択

救急電話相談
看護師が、症状に基づく緊急性や、受診の必要
性についてアドバイスします。

中毒110番 公益財団法人 日本中毒情報センター
一般市民専用電話 (情報提供料は無料、応急手当や受診の必要性のアドバイス)

大阪 072-727-2499 365日 24時間対応
つくば 029-852-9999 365日 9～21時対応

横浜市救急受診ガイド

<https://cgi.city.yokohama.lg.jp/shobo/kyukyu/jushinguide/>

アクセスはこちら▶



救急機関リスト

() 区休日急患診療所 メモしましょう



横浜市夜間急病センター (中区桜木町1-1)

☎045-212-3535

横浜市北部夜間急病センター
(都筑区牛久保西 1-23-4)

☎045-911-0088

横浜市南西部夜間急病センター
(泉区和泉中央北 5-1-5)

☎045-806-0921



ここが危ない!!



子どもの事故予防

「瞬で起る命取りの事故を予防しましょう!」

横浜市子ども青少年局

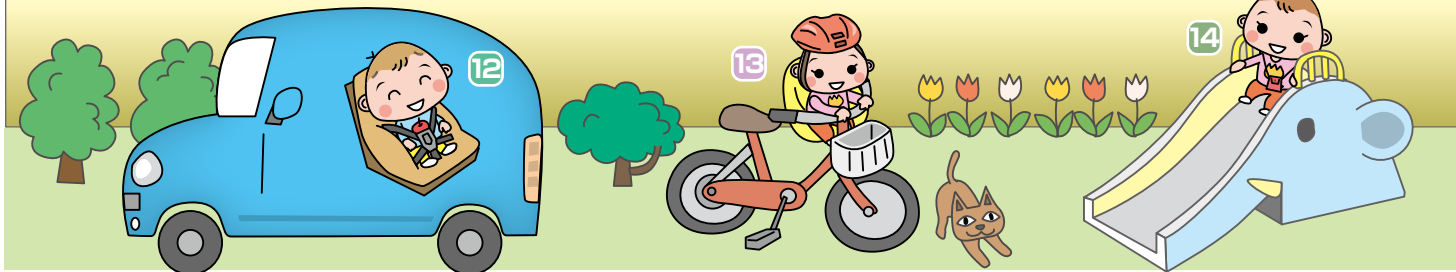
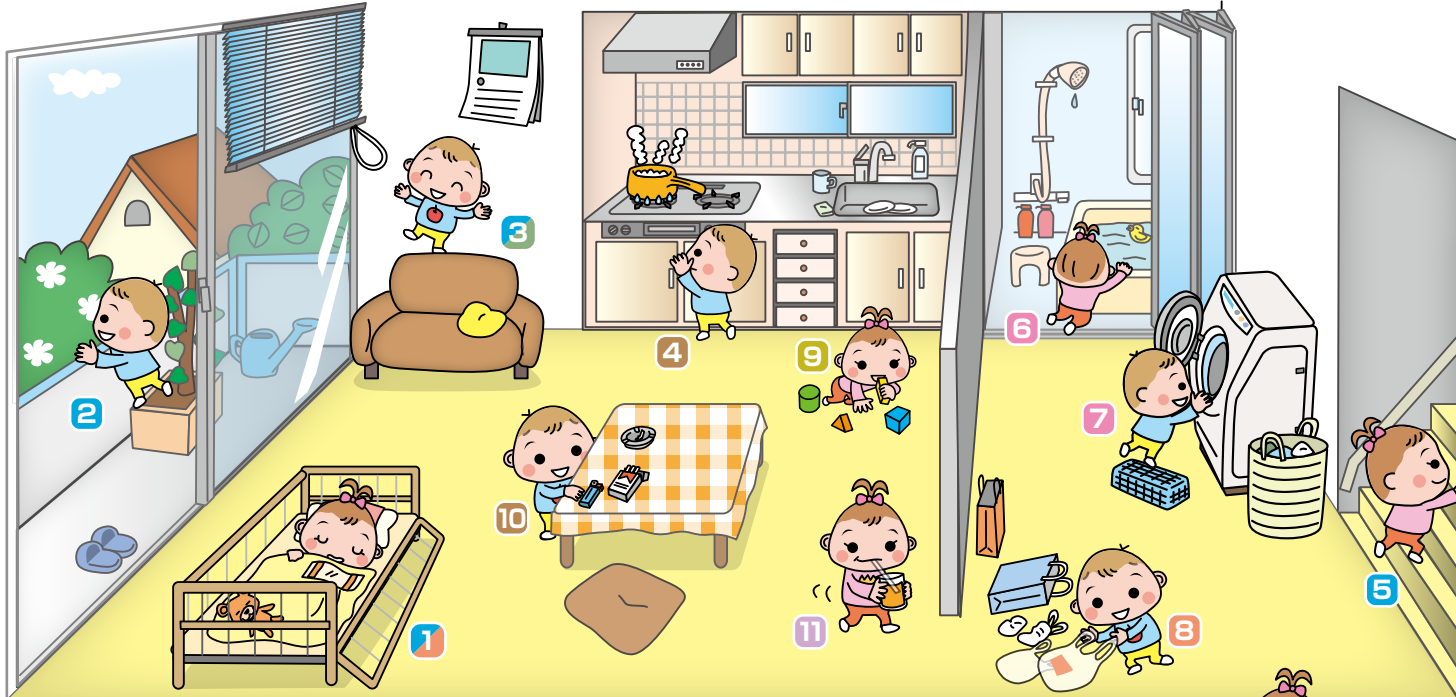
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

令和4年3月発行

横浜市

あっ! ここが危ない! さっそく点検を

下のイラストを参考に、
致命的な事故を未然に
防ぎましょう。



*抱っこひもやベビーカー使用時も取扱説明書を読み、バックルやベルトを正しく締めて使用しましょう。

転落して頭を強打する危険

- 1 ベビーベッド
- 3 ソファ



ベッドの柵が一番上まで上げ、
ひとりでベランダに出ないように
しっかりロックをしましょう。

- 2 ベランダ



踏み台になるものは置かない
ようにします。
ひとりでベランダに出ないように
ガラス戸に鍵をかけましょう。

- 5 階段



ひとりで上り下りしない
ように柵をつけるように
しましょう。

(くわえたまま) 転倒してのど の奥深くに突き刺さる危険

- 11 長いもの



ストローや歯ブラシ、箸のような
長いものを口にくわえたまま
走り回ったりさせないように
しましょう。

(自転車ごと) 転倒して 頭を強打する危険

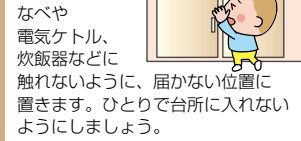
- 13 自転車



子どもを補助いすに乗せたまま
止めておかないようにします。
ヘルメットをかぶせましょう。

やけどする危険

- 4 台所



なべや
電気ケトル、
炊飯器などに
触れないように、届かない位置に
置きます。ひとりで台所に入れない
ようにしましょう。

- 10 居間など



ライターやタバコ、アイロンは手の
届かないところに置くようにしましょう。

湯・水の中に落ちて溺れる危険

- 6 浴槽、
ビニール
プール



ひとりで風呂場に入れないよう入り口に
鍵をかけるようにします。
浴槽内や洗面器、ビニールプールなどに
水や湯を残さないようにしましょう。

- 7 洗濯機



ふたを開けてのぞけない空うしろ近く
に踏み台になるものは置かないように
し、必ず蓋を閉めて、チャイルドロック
機能などを利用しましょう。

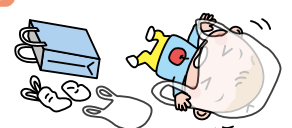
息ができなくて窒息する危険

- 1 ベビーベッド



柔らかい布団や枕は使わず、ぬいぐるみ、
タオルなども、口や鼻をふさぐ危険がある
ので、近くに置かないようにしましょう。

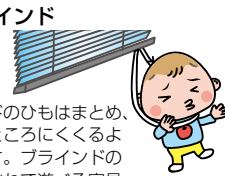
- 8 ビニール袋



ビニール袋は子どもの手の届く
ところに置かないようにしましょう。

ひもで首がしまって窒息する危険

- 3 ブラインド



ブラインドのひもはまとも、
届かないところにくるくると
回らせないようにします。ブラインドの
下に飛び跳ねて遊ぶ家具
は置かないようにします。

- 14 すべり台



遊ぶときは、ひもやフード付きの洋服は
避け、かぼんや水筒などは外すように
しましょう。

のどに詰まって窒息する危険

- 9 おもちゃ・
日用品・
食品*など



ボタン電池やコイン、タバコのような
子どもの口に入る危険のあるものは、
手の届かない場所に置きましょう。

車中に放置され熱中症になる危険 車のドアやパワーウィンドウに挟まれる危険

- 12 自動車



短時間で子どもだけを残して車から
離れないようにします。
ドアや窓は、子どもが自分で開閉操作が
できないようにロック機能を活用しましょう。

*窒息・誤嚥（ごえん）防止のため、ミニトマトやブドウ等、球状の食べ物は小さく切って食べさせましょう。豆・ナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないようにしましょう。